

大豆情報第3号

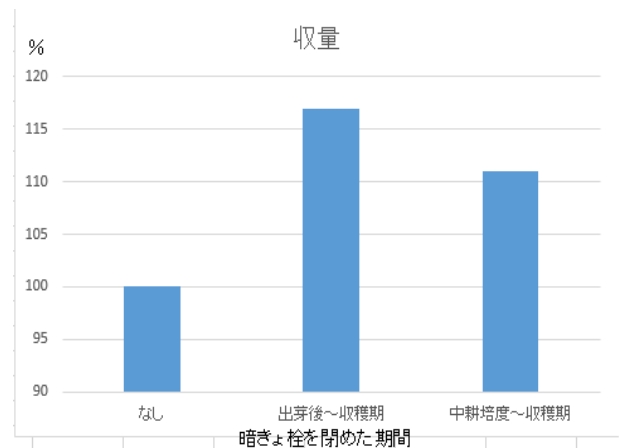
J A む な か た
北筑前普及指導センター

今年の7月1日～8月15日の気象は、平年に比べ平均気温は0.2℃低く、降水量は218%と多く、日照時間は75.5%と少ない状況でした。降雨の影響で播種が遅れたため全体的に生育が遅れています。雑草が残っているほ場では防除対策が必要です。またハスモンヨトウの発生に注意する必要があります。次のことに留意して栽培管理を行ってください。

1 土壌の乾燥対策

8月15日発表の1か月予報は下表のとおりです。

ほ場の乾湿に応じて、暗きよの栓を開け閉めを行ってください。右図は、土壌の乾燥時に、暗きよの栓を閉めることによる増収効果を表したものです。



福岡管区气象台1か月予報

(1 週目) 8/15～21	(2 週目) 8/22～28	(3～4 週目) 8/29～9/11
高気圧に覆われやすく、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。	高気圧に覆われやすく、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。	平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

2 雑草防除

今年は、降雨の影響で、雑草の発生が多くなっています。現在、中耕・培土が行われたほ場でも、ヒエ、ホソアオゲイトウ、アサガオ類などの雑草の発生が多くみられ、中期除草剤による防除が必要です。

【イネ科雑草】

ポルトフロアブル (200～300ml/10a を水 100ℓ、収穫30日前まで)

【アサガオ類】

大豆バサグラン液剤 (100～150ml/10a を水 100ℓ、開花前まで)

【ホソアオゲイトウ、ホオズキ等の広葉雑草】

アタックショット乳剤 (30～50ml/10a を水 100ℓ、開花前まで)

3 ハスモンヨトウ

管内5か所で設置しているフェロモントラップの誘殺数は、全体的に増加傾向にあります。8月20日現在、発生源となる白変葉が見られるほ場もあります。今後の発生は地域やほ場で異なるため、白変葉や虫の発生状況を確認しながら防除を実施してください。

☆ハスモンヨトウ防除（白変葉が5株/aを超えるほ場）

剤型	薬剤名	対象病害虫	使用時期	使用量 (10a 当たり)
液剤	プレバソフフロアブル5 (4,000 倍)	ハスモンヨトウ	収穫7日前まで	100ℓ ~150ℓ
粉剤	トレボン粉剤 DL	ハスモンヨトウ、 カメムシ類	収穫14日前まで	4kg

【白変葉】



【ハスモンヨトウ幼虫】



★農薬を正しく安全に使用しましょう！！

- ① 散布前に必ずラベルを確認
- ② 散布時には近隣作物や住宅街への飛散防止を徹底
- ③ 散布後は必ず散布器具（タンク、ホース等）を洗浄
- ④ 防除履歴の正確な記帳